

HP ProLiant Moonshotカートリッジ ユーザーおよびメンテナンスガイド

摘要

本書は、カートリッジの取り付け、管理、保守、およびトラブルシューティングの担当者を対象としています。本書では、ハードウェアコンポーネントとソフトウェアの説明と保守の手順、および仕様と要件について説明します。コンピューター機器の保守の資格があり、製品の危険性について理解し、重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。



製品番号 : 711776-191
2013年4月
版数 : 1

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoftは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

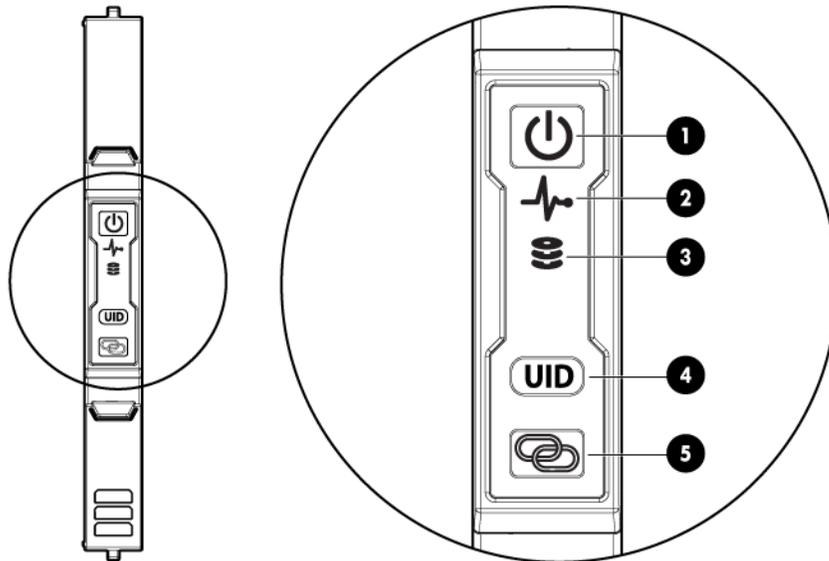
目次

各部の識別	5
カートリッジのLEDとボタン	5
カートリッジの各部	6
操作	7
ラックからシャーシを引き出す	7
アクセスパネルを取り外す	8
アクセスパネルを取り付ける	9
カートリッジブランクを取り外す	9
カートリッジを取り外す	10
カートリッジを取り付ける	10
セットアップ	12
概要	12
HP Moonshot 1500シャーシの取り付けと設定	12
スイッチおよびアップリンクモジュールの取り付けと設定	12
ドライブを取り付ける	12
カートリッジを取り付ける	13
シャーシの電源を入れる	13
カートリッジの電源を入れる	13
カートリッジを設定する	14
オペレーティングシステムをインストールする	14
ハードウェアオプションの取り付け	15
ドライブオプション	15
ソフトウェアおよびコンフィギュレーションユーティリティ	16
HP製品のQuickSpecs	16
HP Moonshot iLO Chassis Management Firmware	16
HP Moonshot iLO CMインテグレートドマネジメントログ	16
HP Moonshot iLO CMイベントログ	16
HP Insight Cluster Management Utility	16
HP Moonshot Component Pack	17
トラブルシューティング	18
トラブルシューティングの資料	18
図による部品カタログ	19
部品のみ保証サービス	19
カートリッジの交換可能部品	20
取り外しおよび交換手順	21
準備手順	21
安全性に関する留意事項	21
静電気による損傷の防止	21
装置の記号	21
警告および注意事項	22
ドライブ	22
カートリッジ	23
カートリッジブランク	26
システムバッテリー	27
規定に関する情報	29
安全と規定準拠	29

Turkey RoHS material content declaration.....	29
Ukraine RoHS material content declaration.....	29
保証情報.....	29
静電気対策.....	30
静電気による損傷の防止.....	30
静電気による損傷を防止するためのアースの方法.....	30
仕様.....	31
シャーシの環境仕様.....	31
シャーシの仕様.....	31
サポートと他のリソース.....	32
頭字語と略語.....	33
索引.....	34

各部の識別

カートリッジのLEDとボタン

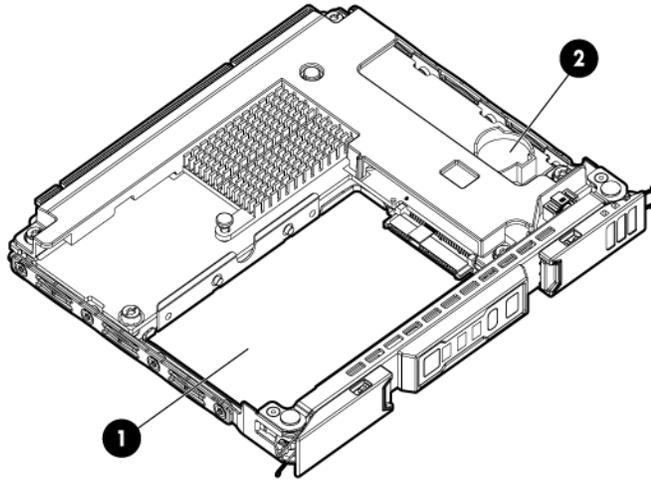


番号	説明	ステータス
1	カートリッジの電源LED/ ボタン	緑色 = 正常に動作しています。 オレンジ色 = スタンバイ状態です。 消灯 = 電源が供給されていません。
2	カートリッジヘルスLED	緑色 = 正常に動作しています。 オレンジ色で点滅 = 性能が低下して います。 赤色で点滅 = 重大な状態です。 消灯 = 電源が供給されていません。
3	ドライブLED*	緑色で点灯 = 動作しています。 消灯 = 動作していません。
4	カートリッジのUID LED/ ボタン	青色 = カートリッジIDが選択されて います。 青色で点滅 = カートリッジファーム ウェアの更新中です。 消灯 = カートリッジIDが選択されて いません。
5	カートリッジのリンク LED/ボタン**	白色で点滅 = カートリッジはリンク されています。 消灯 = カートリッジはほかのカー トリッジにリンクされていません。

*取り付けられているカートリッジに応じて、ドライブLEDはなし、1つ、または2つの場合があります。

**カートリッジリンクLEDは、リンクボタンを押してから10秒間点滅します。

カートリッジの各部



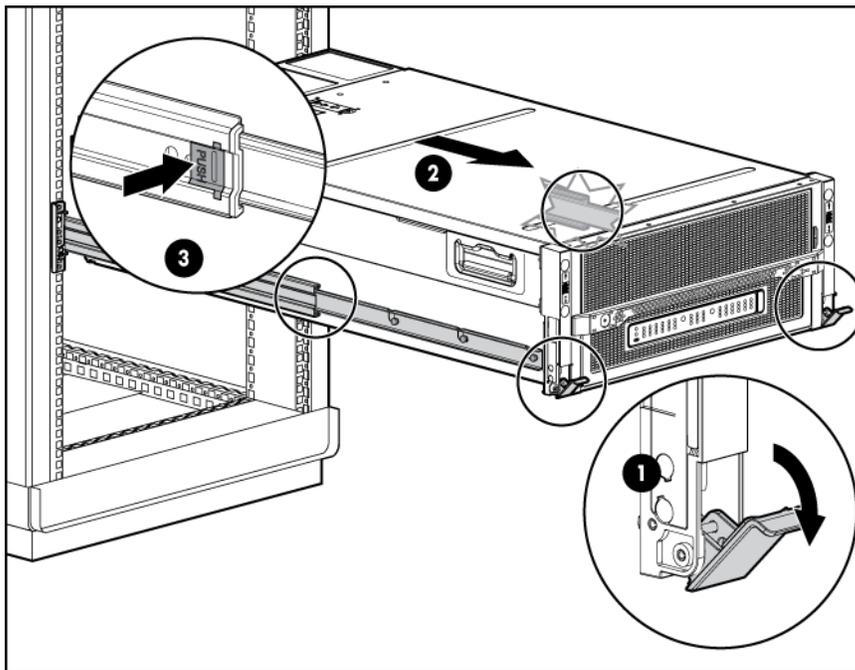
番号	説明
1	ドライブベイ
2	カートリッジのバッテリー

操作

ラックからシャーシを引き出す

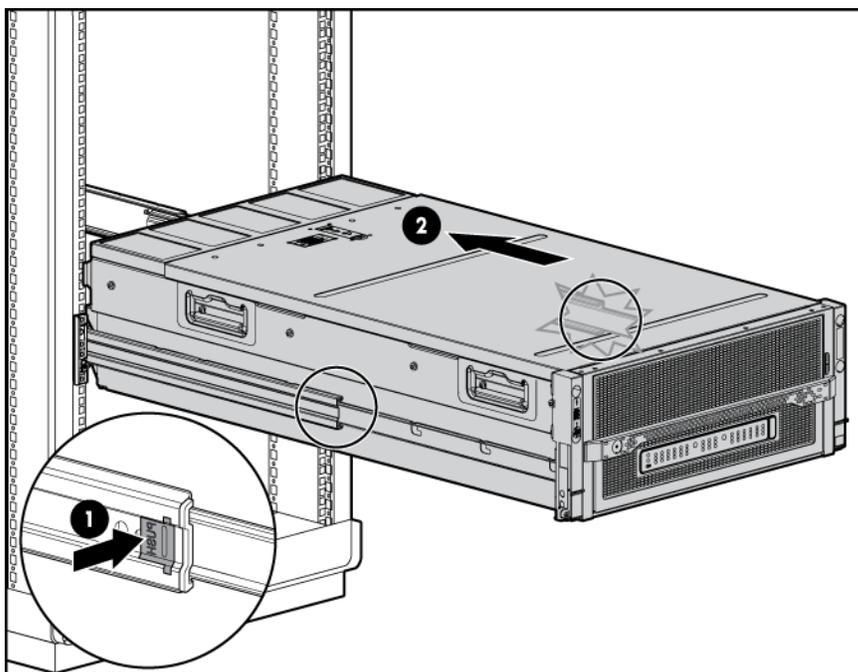
1. シャーシの正面左右にあるクイックリリースレバーを引き下ろします。
2. ラックからシャーシを引き出します。

⚠ 警告: けがや装置の損傷を防止するために、ラックが十分に安定していることを確認してからコンポーネントをラックから引き出してください。



3. 取り付けまたはメンテナンス手順が完了したら、シャーシをスライドさせてラックに戻し、ラックにしっかりと固定します。

⚠ 警告: サーバーのレールリリースラッチを押して、サーバーをスライドさせてラックに押し込む際には、けがをしないように十分に注意してください。スライドレールに指をはさむ場合があります。

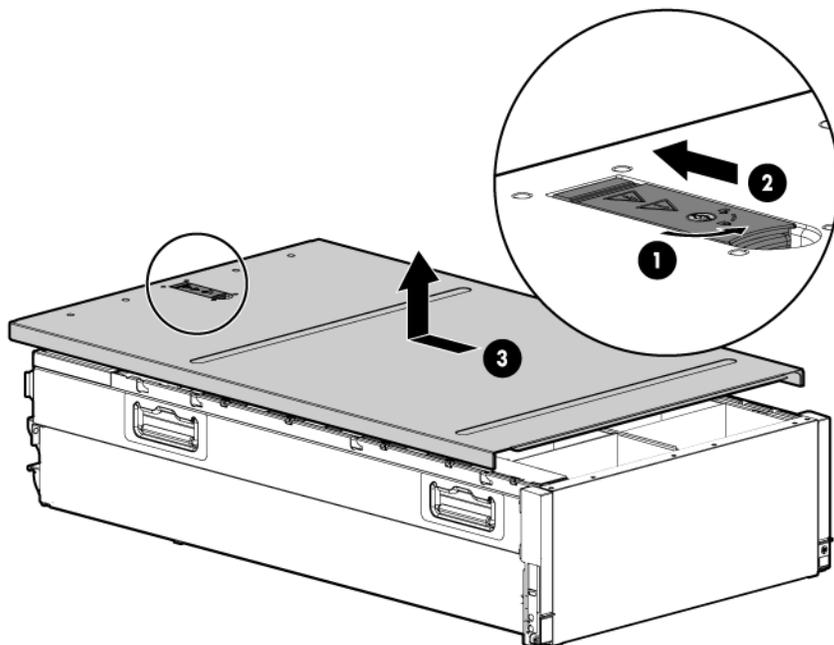


アクセスパネルを取り外す



重要：シャーシ内部での手順が完了したら、必ずシャーシにアクセスパネルを取り付けてください。アクセスパネルを取り外したまま長時間シャーシを動作させないでください。

1. アクセスパネルのラッチを取り外します。
2. アクセスパネルをスライドさせて、後方に1.5 cm (0.5インチ) ほどずらします。
3. アクセスパネルを持ち上げて取り外します。



注：アクセスパネルを反転させて、フードラベルを確認してください。これらのラベルには、各種オプションの取り付け、フレキシブルメモリ構成、LEDステータスインジケータ、およびスイッチ設定に関する情報が示されています。

アクセスパネルを取り付ける

-  **警告：**表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。
-  **注意：**電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。
-  **注意：**アクセスパネルを開けたまま、または取り外したままシャーシを動作させないでください。このような状態でシャーシを動作させると、通気が正しく行われなために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

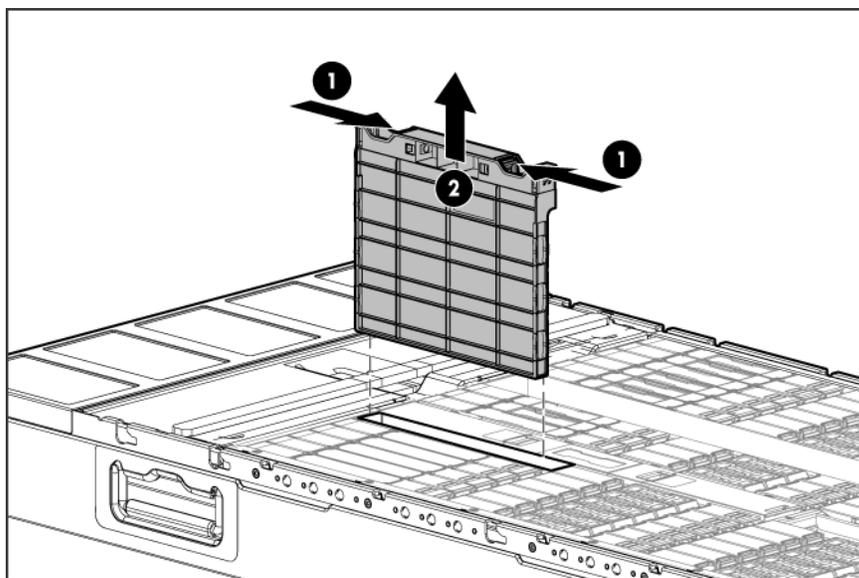
コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. アクセスパネルをシャーシの最上部に取り付けます。
2. アクセスパネルをシャーシの正面方向にスライドさせます。アクセスパネルは所定の位置でロックされます。

カートリッジブランクを取り外す

-  **注意：**適切な冷却を確保するため、シャーシの各カートリッジスロットにはカートリッジまたはカートリッジブランクが常に取り付けられている状態にしてください。カートリッジ交換の際は、30秒以上カートリッジスロットを空のままにしないでください。そうしないと、シャーシ内の通気が分断される恐れがあります。

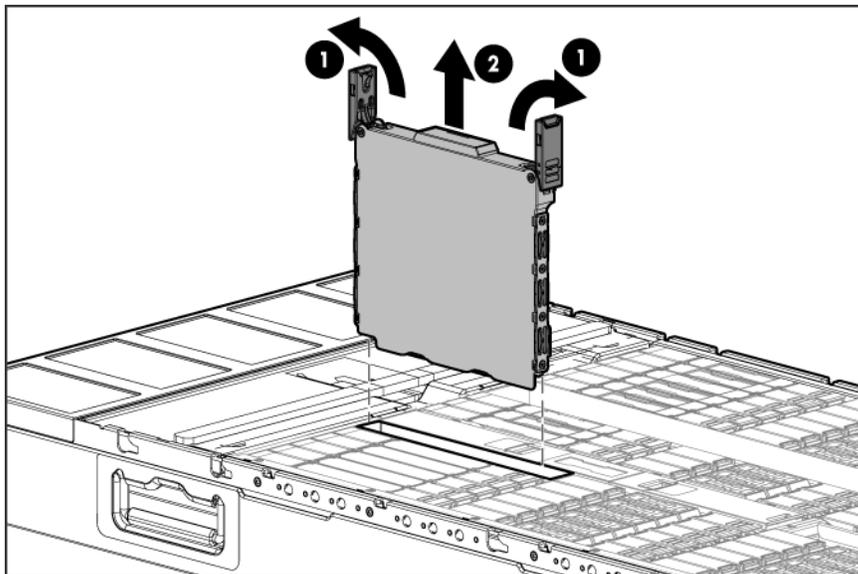
1. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
2. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。
3. コンポーネントは次の図のように取り外します。



カートリッジを取り外す

△ **注意:** 適切な冷却を確保するため、シャーシの各カートリッジスロットにはカートリッジまたはカートリッジブランクが常に取り付けられている状態にしてください。カートリッジ交換の際は、30秒以上カートリッジスロットを空のままにしないでください。そうしないと、シャーシ内の通気が分断される恐れがあります。

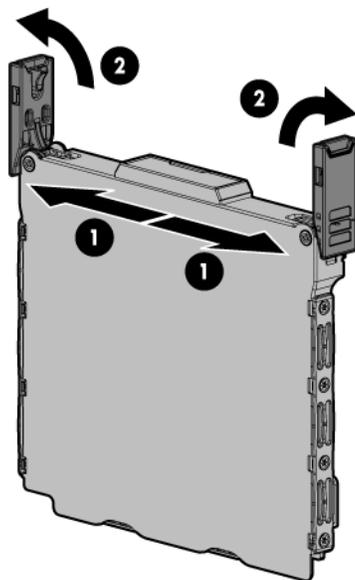
1. カートリッジの電源を切ります。
2. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
3. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。
4. カートリッジをシャーシから取り外します。



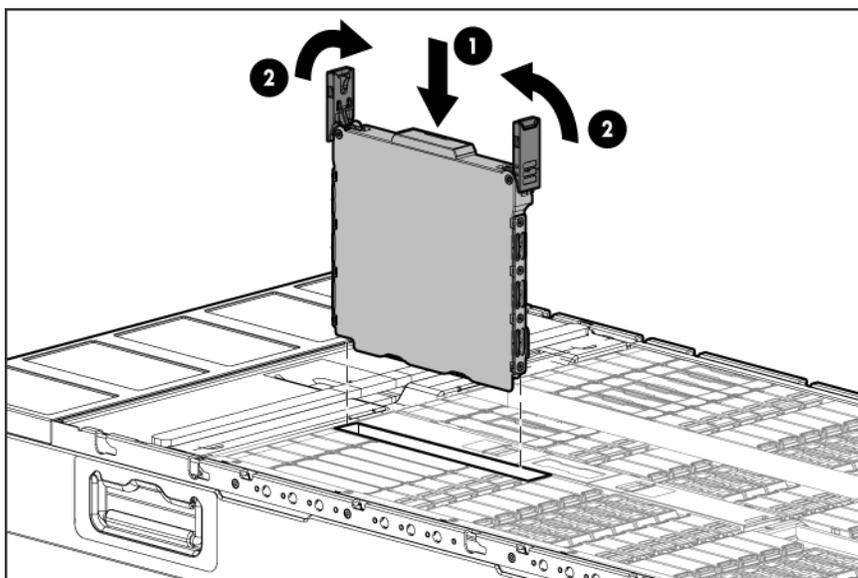
カートリッジを取り付ける

1. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
2. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。

3. カートリッジを準備します。



4. カートリッジをシャーシに合わせて取り付けます。



5. アクセスパネルを取り付けます (9ページ)。

セットアップ

概要

カートリッジを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. HP Moonshot 1500シャーシを取り付け、設定します（「[HP Moonshot 1500シャーシの取り付けと設定](#)」（12ページ））。
2. スイッチモジュールとアップリンクモジュールを取り付け、設定します（「[スイッチおよびアップリンクモジュールの取り付けと設定](#)」（12ページ））。
3. ドライブを取り付けます（「[ドライブを取り付ける](#)」（12ページ））。
4. カートリッジを取り付けます（10ページ）。
5. シャーシの電源を入れます（「[シャーシの電源を入れる](#)」（13ページ））。
6. 必要な場合は、カートリッジの電源を入れます（「[カートリッジの電源を入れる](#)」（13ページ））。
7. カートリッジを設定します（「[カートリッジを設定する](#)」（14ページ））。
8. オペレーティングシステムをインストールします（「[オペレーティングシステムをインストールする](#)」（14ページ））。

HP Moonshot 1500シャーシの取り付けと設定

カートリッジに固有の手順を実行する前に、HP ProLiant Moonshot 1500シャーシを取り付けます。シャーシの取り付けについては、HP Moonshot情報ライブラリ<http://www.hp.com/go/moonshot/docs>（英語）にある『HP Moonshot 1500シャーシセットアップ/インストレーションガイド』を参照してください。

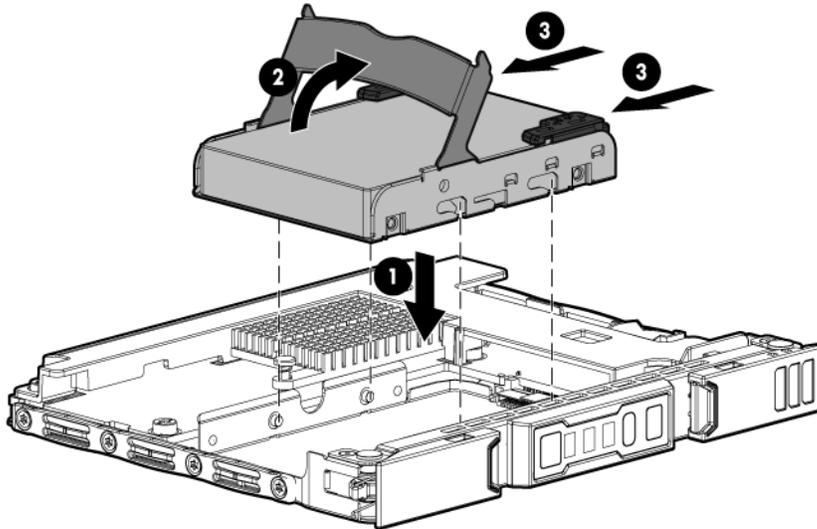
スイッチおよびアップリンクモジュールの取り付けと設定

スイッチモジュールとアップリンクモジュールを取り付ける具体的な手順については、HP Moonshot情報ライブラリ<http://www.hp.com/go/moonshot/docs>（英語）を参照してください。

ドライブを取り付ける

1. ラックからシャーシを引き出します（7ページ）。
2. アクセスパネルを取り外します（8ページ）。
3. カートリッジを取り外します（10ページ）。
4. カートリッジに取り付けられているドライブを取り外します（「[ドライブ](#)」（22ページ））。

5. ドライブは次の図のように取り付けます。



6. カートリッジを取り付けます (10ページ)。
7. アクセスパネルを取り付けます (9ページ)。

カートリッジを取り付ける

1. 次のいずれかの手順を実行します。
 - カートリッジブランクを取り外します (9ページ)。
 - カートリッジを取り外します (「[カートリッジの取り外し](#)」 (10ページ))。
2. カートリッジを取り付けます (10ページ)。

シャーシの電源を入れる

カートリッジを取り付けるときにシャーシの電源を切った場合は、シャーシの電源を入れます。カートリッジはホットプラグ対応のため、取り付けのためにシャーシの電源を切る必要はありません。

1. 電源ケーブルをパワーサプライに接続します。
2. 電源ケーブルを電源 (UPSまたはコンセント) または取り付けられているPDUに接続します。
3. シャーシに電源が投入されるのを待ちます。シャーシのフロントパネルのディスプレイにあるシャーシの電源LEDのステータスを確認します。シャーシの電源LEDのステータスについては、HP Moonshot情報ライブラリ <http://www.hp.com/go/moonshot/docs> (英語) にある『HP Moonshot 1500シャーシセットアップ/インストールガイド』を参照してください。

カートリッジの電源を入れる

カートリッジの電源ボタンを実際に押してカートリッジの電源を入れるか、CLIコンソール、IPMI、またはSL-APMを使用してリモートで電源を入れます。カートリッジが起動するのを待ちます。カートリッジの電源が投入されて使用可能になると、カートリッジの電源LEDが緑色で点灯します。

カートリッジを設定する

iLO CMファームウェアにログオンし、カートリッジに関連するiLOゾーンを選択して、カートリッジファームウェアを更新します。

詳しくは、HP Moonshot情報ライブラリ<http://www.hp.com/go/moonshot/docs>（英語）にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。

オペレーティングシステムをインストールする

サポートされているオペレーティングシステムの最新情報については、HPのWebサイト<http://www.hp.com/go/supportos>（英語）を参照してください。

PXE環境でカートリッジにオペレーティングシステムイメージを展開するには、DHCPとイメージ配備サーバーが設定済みであることを確認してください。

1. 適切なゾーンを選択し、次のコマンドを入力して、必要なカートリッジのMACアドレスを取得します。

```
show node macaddr all
```
2. インストール設定ファイルまたは応答ファイルにシリアルコンソールオプションが定義されていることを確認します。

```
console=ttyS0,9600n8
```
3. 起動メッセージやインストールの進行状況を確認するには、目的のカートリッジのVSPで別のターミナルセッションを開きます。

```
connect node vsp CxNy
```

デフォルトではすべてのカートリッジがPXE起動します。
4. 目的のカートリッジを起動するか、電源を入れなおします。

```
set node power [ON|OFF|SHUTDOWN]
```
5. VSPセッションから、PXE起動メッセージの監視やインストールプロセスを確認してください。
6. 完了したら、定義したシステム設定を確認します。

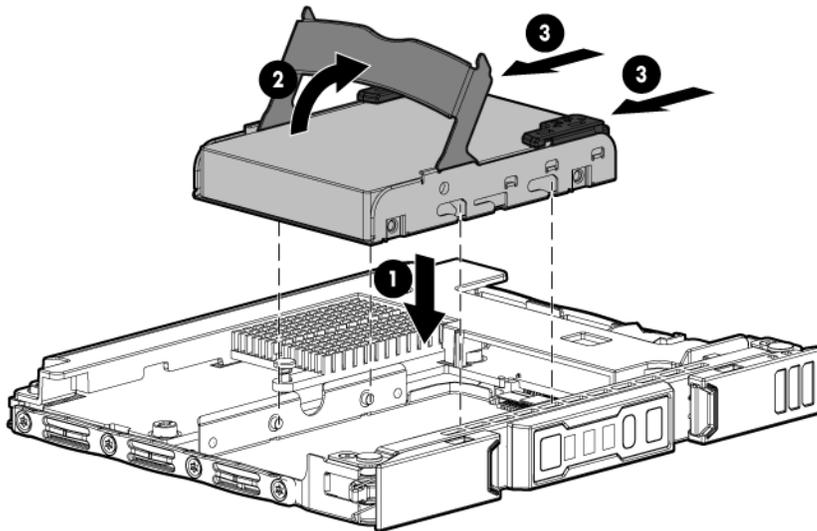
ハードウェアオプションの取り付け

ドライブオプション

カートリッジでサポートされているドライブについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/go/productbulletin>（英語）にあるHP製品のQuickSpecsを参照してください。

コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. ラックからシャーシを引き出します（7ページ）。
2. アクセスパネルを取り外します（8ページ）。
3. ドライブLEDの定義（「[カートリッジのLEDとボタン](#)」（5ページ））から、ドライブのステータスを確認します。
4. カートリッジを取り外します（10ページ）。
5. カートリッジに取り付けられているドライブを取り外します（「[ドライブ](#)」（22ページ））。
6. カートリッジにドライブを取り付けます。



7. カートリッジを取り付けます（10ページ）。
8. アクセスパネルを取り付けます（9ページ）。

ソフトウェアおよびコンフィギュレーションユーティリティ

HP製品のQuickSpecs

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HP Product BulletinのWebサイト <http://www.hp.com/go/productbulletin> (英語) にある製品のQuickSpecsを参照してください。

HP Moonshot iLO Chassis Management Firmware

Moonshot iLO CMファームウェアは、HP Moonshotに対する集約されたシャーシ管理のためのゲートウェイです。iLO CMファームウェアは、ノードとその他のMoonshotコンポーネント全体で4つのiLOを共有することによって、コストと電力を削減します。iLO CMファームウェアをシャーシへの単一のアクセスポイントとして使用することで、CLI、IPMI、およびリモートからのシリアルコンソールのアクセスによって、HP Moonshotを構成、更新、および動作させることができます。

詳しくは、HP Moonshot情報ライブラリ <http://www.hp.com/go/moonshot/docs> (英語) にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。

HP Moonshot iLO CMインテグレートッドマネジメントログ

iLO CM IMLは、数百のイベントを記録して簡単に表示できる形式で格納します。iLO CM IMLは、各イベントに1分単位のタイムスタンプを記録します。iLO CM IMLに記録されたイベントを表示するには、iLO CMファームウェアで `show log iml` コマンドを使用します。ログを保存するには、セッションウィンドウから内容を切り取って貼り付けるか、SSHクライアントでセッションのログ記録を設定します。

詳しくは、HP Moonshot情報ライブラリ <http://www.hp.com/go/moonshot/docs> (英語) にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。

HP Moonshot iLO CMイベントログ

iLO CM イベントログはオペレーティングシステムに依存しないログで、イベントのレコードを日付と時刻によって管理します。記録されるイベントには、電源障害やリセットなどのメジャーイベントと、iLO CMファームウェアイベントが含まれます。iLO CM イベントログに記録されたイベントを表示するには、iLO CMファームウェアで `show log ilo` コマンドを使用します。ログを保存するには、セッションウィンドウから内容を切り取って貼り付けるか、SSHクライアントでセッションのログ記録を設定します。

詳しくは、HP Moonshot情報ライブラリ <http://www.hp.com/go/moonshot/docs> (英語) にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。

HP Insight Cluster Management Utility

HP Insight CMUIは、大規模なLinuxクラスター用の、効率的で堅牢でハイパースケールクラスターのライフサイクル管理フレームワークおよびツールスイートです。シンプルなグラフィカルインターフェイスにより、複数の測定基準にわたるクラスター全体を一目で見ることができます。また、スムーズでスケーラブルなリモート管理と分析を実現し、すべてのシステムノードにソフトウェアを迅速にプロビジョニングできます。HP Insight CMUIは、スクリプトによる管理やノード単位での管理の場合よりも使いやすく効率的でエラーフリーのクラスター管理を実現します。HP Insight CMUIは非常に柔軟性が高くカスタマイズ可能で、GUIとCLIの両方のインターフェイスを備えており、

シンプルなコンピュータファームから大幅にカスタマイズされたアプリケーション固有の構成に至るまで、さまざまなソフトウェア環境の配備に使用されます。

HP Insight CMUの特長と、技術資料、Quickspecs、および製品デモへのリンクについては、HPのWebサイト <http://www.hp.com/go/cmu>（英語）を参照してください。

この製品をダウンロードするには、HP Software Depot <https://h20392.www2.hp.com/portal/swdepot/index.do>にアクセスし、[HP Insight Management] をクリックしてから、[Insight Cluster Management] をクリックしてください。

HP Moonshot Component Pack

MCP (HP Moonshot Component Pack) は単一のファイルとして提供される包括的なファームウェアソリューションです。このソリューションはHP Moonshotでテストされ、バンドルファミリとして提供されます。MCPは、ファームウェアコンポーネントをフラッシュするCLIを使用してファームウェアを更新します。ファームウェアコンポーネントのフラッシュはiLO CMファームウェアへの更新ファイルの配信で構成され、必要に応じてフラッシュファイルを配布します。セットアップ中にインターネットに接続しない場合は、HPのWebサイト <http://www.hp.com/go/servers/moonshot/download>（英語）から最新のMCPをダウンロードしてください。

トラブルシューティング

トラブルシューティングの資料

『HP Moonshotトラブルシューティングガイド』は、HP Moonshotについて、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、およびソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。このドキュメントは、HP Moonshot情報ライブラリ (<http://www.hp.com/go/moonshot/docs> (英語)) から入手できます。

図による部品カタログ

カスタマーセルフリペア

修理時間を短縮し、故障部品の交換における高い柔軟性を確保するために、HP製品には多数のCSR部品があります。診断の際に、CSR部品を使用すれば修理ができるとHP（HPまたはHP正規保守代理店）が判断した場合、HPはその部品を直接、お客様に発送し、お客様に交換していただきます。CSR部品には以下の2通りがあります。

- **必須** - カスタマーセルフリペアが必須の部品。当該部品について、もしもお客様がHPに交換作業を依頼される場合には、その修理サービスに関する交通費および人件費がお客様に請求されます。
- **任意** - カスタマーセルフリペアが任意である部品。この部品もカスタマーセルフリペア用です。当該部品について、もしもお客様がHPに交換作業を依頼される場合には、お買い上げの製品に適用される保証サービス内容の範囲内においては、別途費用を負担していただくことなく保証サービスを受けることができます。

注： HP製品の一部の部品は、カスタマーセルフリペア用ではありません。製品の保証を継続するためには、HPまたはHP正規保守代理店による交換作業が必須となります。部品カタログには、当該部品がカスタマーセルフリペア除外品である旨が記載されています。

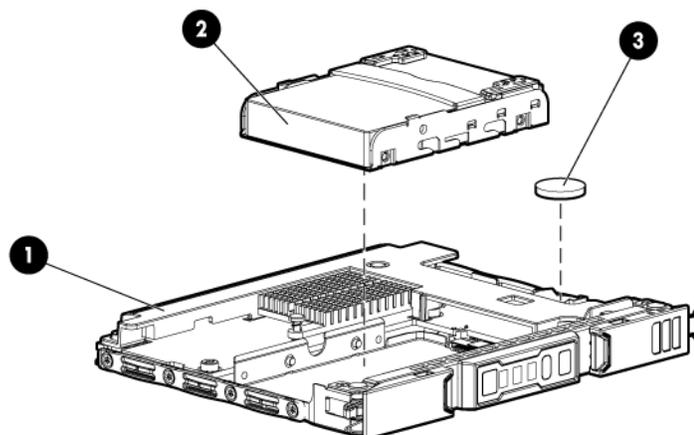
部品供給が可能な場合、地域によっては、CSR部品を翌営業日に届くように発送します。また、地域によっては、追加費用を負担いただくことにより同日または4時間以内に届くように発送することも可能な場合があります。サポートが必要なときは、HPの修理受付窓口にご連絡いただければ、技術者が電話でアドバイスします。交換用のCSR部品または同梱物には、故障部品をHPに返送する必要があるかどうかが表示されています。故障部品をHPに返送する必要がある場合は、指定期限内（通常は5営業日以内）に故障部品をHPに返送してください。故障部品を返送する場合は、届いた時の梱包箱に関連書類とともに入れてください。故障部品を返送しない場合、HPから部品費用が請求されます。カスタマーセルフリペアの際には、HPは送料および部品返送費を全額負担し、使用する宅配便会社や運送会社を指定します。

部品のみ保証サービス

HP保証サービスには、部品のみ保証サービスが適用される場合があります。このサービスでは、交換部品は無償で提供されます。

部品のみ保証サービスにおいては、CSR部品をお客様により交換作業していただくことが必須になります。当該部品について、もしもお客様がHPに交換作業を依頼される場合には、その修理サービスに関する交通費および人件費がお客様に請求されます。

カートリッジの交換可能部品



番号	説明	交換用部品の 製品番号	カスタマーセルフリペア (19ページ)
1	HP ProLiant Moonshotカートリッジ	708917-001	必須 ¹
2	ドライブ	—	—
	a) 500GB、SATA、SFF、7,200rpm、6G*	632142-001	必須 ¹
	b) 1TB、SATA、SFF、7,200rpm、6G*	632143-001	必須 ¹
3	システムバッテリー	234556-001	必須 ¹
4	カートリッジブランク*	712680-001	必須 ¹

*図には表示されていません。

¹必須 - カスタマーセルフリペアが必須の部品。当該部品について、もしもお客様がHPに交換作業を依頼される場合には、その修理サービスに関する交通費および人件費がお客様に請求されます。

²任意 - カスタマーセルフリペアが任意である部品。この部品もカスタマーセルフリペア用です。当該部品について、もしもお客様がHPに交換作業を依頼される場合には、お買い上げの製品に適用される保証サービス内容の範囲内においては、別途費用を負担していただくことなく保証サービスを受けることができます。

³除外 - HP製品の一部の部品は、カスタマーセルフリペア用ではありません。製品の保証を継続するためには、HPまたはHP正規保守代理店による交換作業が必須となります。部品カタログには、当該部品がカスタマーセルフリペア除外品である旨が記載されています。

取り外しおよび交換手順

準備手順

いくつかのコンポーネントにアクセスして特定の保守手順を実行するには、次の手順のいずれかまたは複数を実行する必要があります。

- アクセスパネルを取り外します（8ページ）。
- アクセスパネルを取り付けます（9ページ）。
- カートリッジを取り外します（10ページ）。
- カートリッジを取り付けます（10ページ）。

安全性に関する留意事項

保守手順を実行する前に、安全に関する情報をすべて見なおしてください。

静電気による損傷の防止

システムの損傷を防ぐために、セットアップおよび部品の取り扱いの際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、本体の耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースにいれたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



装置に高電圧が発生する回路があることや、装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。

警告: 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、ユーザーや使用現場の担当者が修理できる部品は入っていません。カバーは、絶対に開けないでください。

警告：感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。



この記号が貼付されたRJ-45ソケットはネットワークインターフェイス接続を示します。

警告：感電、火災、または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクターをこのソケットに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告：表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



43.09 kg
43.09 kg

製品や機械にこの記号が付いている場合、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。

警告：けがや装置の損傷を防ぐために、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。



電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告：感電を防止するために、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

警告および注意事項

シャーシを取り付ける前に、以下の警告と注意をよく読んでください。



警告：感電や装置の損傷を防ぐため、以下の点に注意してください。

- 電源コードのアース付きプラグを無効にしないでください。アース付きプラグは安全上重要な機能です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードをパワーサプライから外してください。
- 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、シャーシと電源コードの接続部には、特に注意してください。



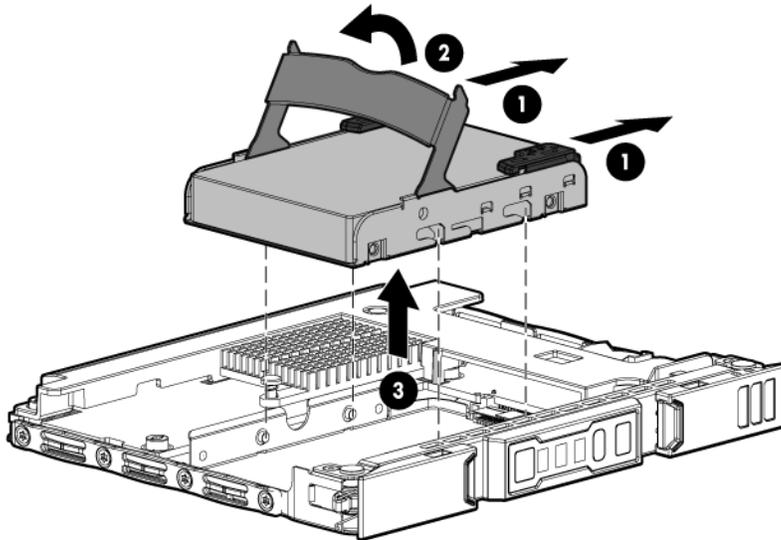
注意：アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間シャーシを動作させないでください。このような状態でシャーシを動作させると、通気が正しく行われないために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

ドライブ

コンポーネントを取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
2. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。

3. ドライブLEDの定義（「[カートリッジのLEDとボタン](#)」（5ページ））から、ドライブのステータスを確認します。
4. カートリッジを取り外します（10ページ）。
5. ドライブ上のすべてのデータのバックアップを取ります。
6. ドライブを取り外します。



コンポーネントを元に戻すには、取り外し手順を逆に実行します。

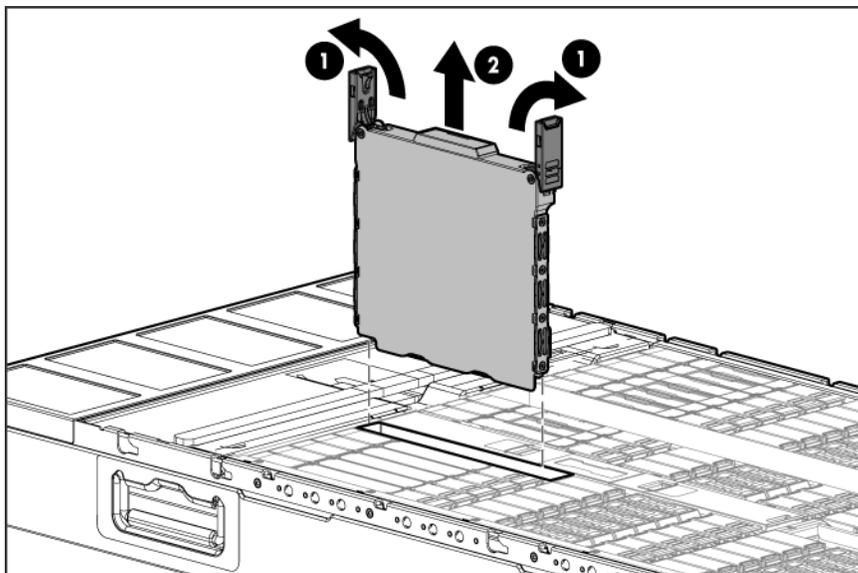
カートリッジ

カートリッジが故障して、シャーシに交換用カートリッジを取り付けるときは、そのカートリッジに対する保証の権利を失わないようにするため、シリアル番号と製品IDを必ず更新してください。

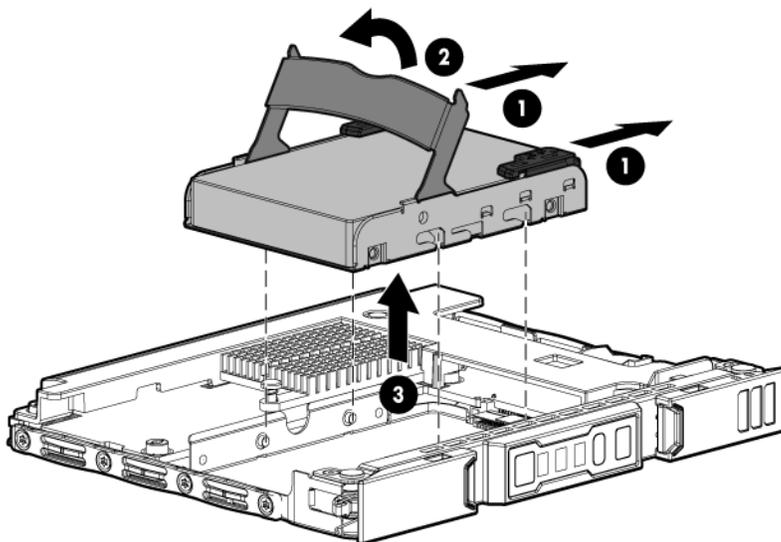
コンポーネントを取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. iLO CMファームウェアにログインします。iLO CMファームウェアについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/go/moonshot/docs>（英語）にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。
2. 交換するカートリッジのカートリッジスロット番号をメモします。
3. 次のコマンドを使用して、シリアル番号を取得します。
SHOW CARTRIDGE SN C<カートリッジ番号>
4. 次のコマンドを使用して、製品IDを取得します。
SHOW CARTRIDGE PID C<カートリッジ番号>
5. 故障したカートリッジの電源が入っている場合は、次のコマンドを使用して、故障したカートリッジの電源を切ります。
SET NODE POWER SHUTDOWN C<カートリッジ番号>N<ノード番号>
6. カートリッジの電源を切ります。
7. ラックからシャーシを引き出します（7ページ）。
8. アクセスパネルを取り外します（8ページ）。

9. 故障したカートリッジを取り外します。

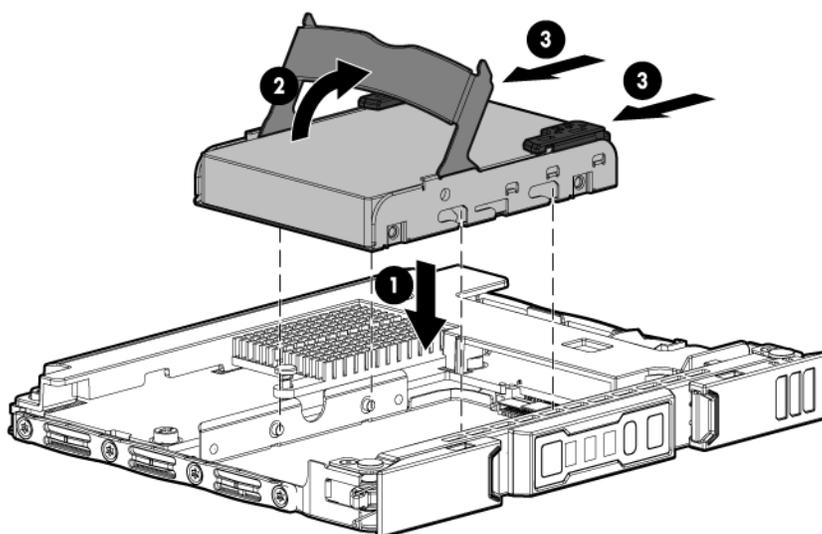


10. 故障したカートリッジにドライブが取り付けられている場合は、ドライブを取り外します。

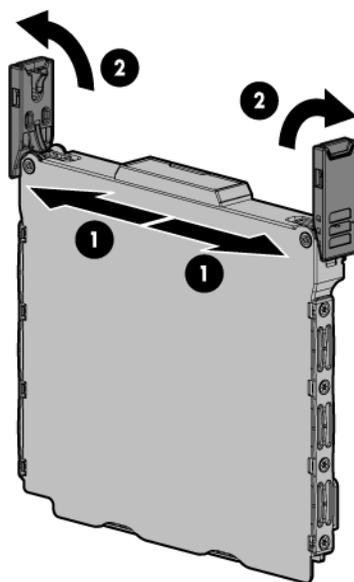


コンポーネントを交換するには、以下の手順に従ってください。

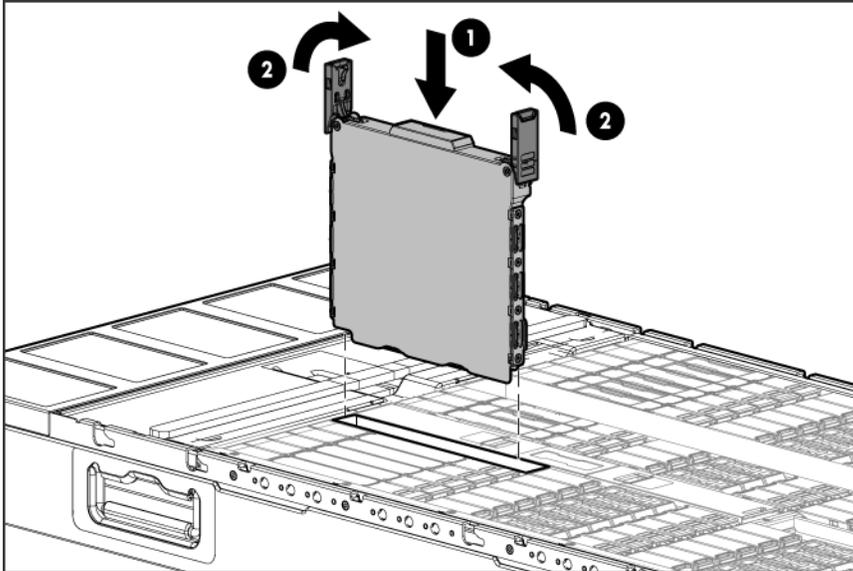
1. 故障したカートリッジのドライブを、交換用カートリッジに取り付けます。



2. 交換用カートリッジの取り付け準備をします。



3. 交換用カートリッジを取り付けます。



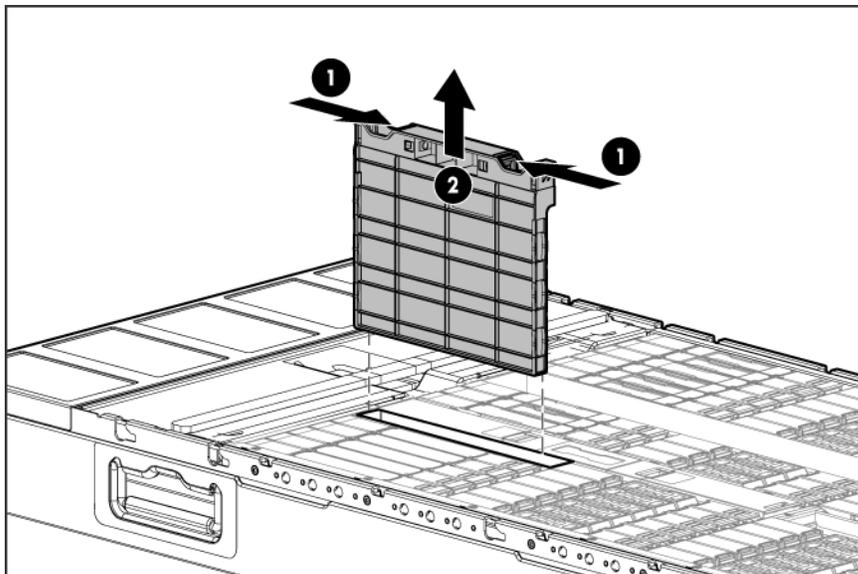
4. アクセスパネルを取り付けます (9ページ)。
5. シャーシマネージャーが交換用カートリッジを見つけられるようにします。このプロセスが完了すると、リンクLEDが点滅します。
6. 次のコマンドを使用して、交換用カートリッジに元のシリアル番号を割り当てます。
SET CARTRIDGE SN <元のSN> C<カートリッジ番号>
7. 次のコマンドを使用して、交換用カートリッジに元の製品ID番号を割り当てます。
SET CARTRIDGE PID <元のPID> C<カートリッジ番号>

カートリッジブランク

コンポーネントを取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
2. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。

3. カートリッジブランクをシャーシから取り外します。



コンポーネントを元に戻すには、取り外し手順を逆に実行します。

システムバッテリー

カートリッジが正しい日付と時刻を自動的に表示することができなくなったら、リアルタイムクロックに電力を供給しているバッテリーを交換する必要があるかもしれません。通常の使用では、バッテリーの寿命は5~10年です。



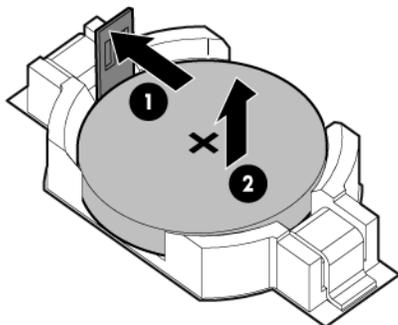
警告：ご使用のコンピューターには、二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウムまたはアルカリバッテリー/バッテリーパックが内蔵されています。バッテリーパックの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- バッテリーを充電しないでください。
- 温度が60 °Cを超える場所でバッテリーを使用しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたり、ショートさせたり、火や水の中に投げたりしないでください。
- 交換するバッテリーは、この製品専用のスペアバッテリーだけをご使用ください。

コンポーネントを取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. カートリッジの電源を切ります。
2. ラックからシャーシを引き出します (7ページ)。
3. アクセスパネルを取り外します (8ページ)。
4. カートリッジを取り外します (「[カートリッジ](#)」 (23ページ))。
5. カートリッジ上のバッテリーの位置を確認します (「[カートリッジの交換可能部品](#)」 (20ページ))。

6. バッテリーを取り外します。



コンポーネントを元に戻すには、取り外し手順を逆に実行します。

バッテリーの交換または正しい廃棄方法については、HP製品販売店またはHPのサービス窓口にお問い合わせください。

規定に関する情報

安全と規定準拠

安全、環境、および規定に関する情報については、『Safety and Compliance Information for Server, Storage, Power, Networking, and Rack Products』（HPのWebサイト<http://www.hp.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>（英語））を参照してください。

Turkey RoHS material content declaration

Türkiye Cumhuriyeti: EEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

HP ProLiantとX86サーバーおよびオプション (http://www.hp.com/jp/support/warranty_server)

HP エンタープライズサーバー (<http://www.hp.com/support/EnterpriseServers-Warranties>)

HPストレージ製品 (<http://www.hp.com/support/Storage-Warranties>)

HPネットワーク製品 (<http://www.hp.com/support/Networking-Warranties>)

静電気対策

静電気による損傷の防止

システムの損傷を防ぐために、セットアップおよび部品の取り扱いの際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、本体の耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースにいれたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

静電気による損傷を防止するためのアースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときは、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているワークステーションまたはコンピューター本体にアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
- 作業工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、HP製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、HP製品販売店にお問い合わせください。

仕様

シャーシの環境仕様

仕様	値
温度範囲*	—
動作時	10 °C~35 °C
非動作時	-30 °C~60 °C
最大湿球温度	—
動作時	28 °C
非動作時	38.7 °C
相対湿度（ただし、結露しないこと）**	—
動作時	10~90 %
非動作時	5~95 %

*ここで示す温度の定格はすべて海拔0 mでのものです。海拔3,048 mまでは、高度が304.8 m上昇するごとに1 °C下がります。直射日光が当たらないようにしてください。動作時の最高海拔高度は、3,048 m（70 Kpa）です。非動作時の最高海拔高度は9,144 mです。

**保管時の最高湿度95 %は、最高温度45 °Cに基づきます。保管時の最低気圧は70 kPaです。

シャーシの仕様

仕様	値
高さ	18.96 cm
奥行き	84.91 cm
幅	44.33 cm
重量（全搭載）	81.65 kg
重量（無搭載）	43.09 kg

サポートと他のリソース

製品情報を入手するには、iLO CMファームウェアにログインし、Show Chassis Infoコマンドを使用します。詳しくは、HP Moonshot情報ライブラリ<http://www.hp.com/go/moonshot/docs>（英語）にある『HP Moonshot iLO Chassis Management Firmwareユーザーガイド』を参照してください。

頭字語と略語

CM

chassis management。シャーシ管理

CMU

HP Insight Cluster Management Utility

CSR

Customer Self Repair。カスタマーセルフリペア

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol

ESD

electrostatic discharge。静電気対策

ID

identification。識別子

IPMI

Intelligent Platform Management Interface

MAC

Media Access Control。メディアアクセス制御

PDU

power distribution unit。パワーディストリビューションユニット

PXE

preboot execution environment

SL-APM

HP ProLiant SL Advanced Power Manager

UID

unit identification。ユニット識別子

UPS

uninterruptible power system。無停電電源装置

索引

C

CMU 16

D

Declaration of Conformity 29

H

HP Insight Cluster Management Utility 16
HP Moonshot Component Pack 17
HP Moonshot iLO Chassis Management Firmware 16
HP、問い合わせ 32

L

LED 5
LED、カートリッジヘルス 5
LED、ドライブヘルス 5
LED、トラブルシューティング 18
LED、リンク 5

Q

QuickSpecs 16

R

RoHS 29

あ

アースの方法 30
アクセスパネル 8
アクセスパネルの取り付け 9
アップリンクモジュール、設定 12
アップリンクモジュール、取り付け 12
安全性に関する留意事項 21、29
安全に関する情報 21、29

お

オペレーティングシステムのインストール 14

か

カートリッジ、電源を入れる 13
カートリッジのUID LED/ボタン 5
カートリッジの各部 6、20
カートリッジの設定 14
カートリッジの電源LED 5

カートリッジの電源を入れる 13
カートリッジの取り付け 10、12、13
カートリッジの取り外し 10、23
カートリッジのリンクLED/ボタン 5
カートリッジブランク 9、26
各部 5、19、20
カスタマーセルフリペア (CSR) 32
環境要件 31

き

規定準拠の情報 29
規定に関するご注意 29

け

警告 22

こ

交換手順 21
交換用部品の製品番号 19、20

さ

サーバーの仕様 31
サポート 32
サポートと他のリソース 32

し

システムの設定 16
システムボードの各部 6
システムボードのバッテリー 6、20
シャーシの環境仕様 31
シャーシの仕様 31
シャーシ、ラックへの取り付け 12
準拠 29
準備手順 7、21
仕様 31
仕様、環境 31
情報 32

す

スイッチモジュール、設定 12
スイッチモジュール、取り付け 12

せ

静電気 21
静電気対策 21、30
製品番号 19、20

そ

装置の記号 21

ち

注意 22

て

電源投入手順 13

と

ドライブ 15、20、22

ドライブ、交換 22

ドライブ、取り付け 12

ドライブ、取り外し 22

ドライブの取り付け 12

ドライブベイ 6

ドライブヘルスLED 5

トラブルシューティング 18

トラブルシューティングの資料 18

取り付け、シャーシ 12

取り外しおよび交換手順 21

は

バッテリー 27

バッテリー、取り扱い 27

ひ

必要な情報 32

必要なツール 21

ふ

ファームウェアアップグレードユーティリティ、トラブルシューティング 18

ほ

保証情報 29

も

問題の診断 18

ゆ

ユーティリティ 16

り

リンクLED 5

れ

連絡先 32